

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会

目 次

佐世保市社会福祉協議会事業報告	P
事業概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
地域福祉推進事業	・ ・ ・ ・ ・ 2
【施設事業報告】	
介護事業所	・ ・ ・ ・ ・ 13
勝富授産場	・ ・ ・ ・ ・ 15
須佐保育園	・ ・ ・ ・ ・ 16
吉井北保育園	・ ・ ・ ・ ・ 18
宇久ふたば保育所	・ ・ ・ ・ ・ 20
児童センター	・ ・ ・ ・ ・ 21
老人福祉センターやすらぎ荘	・ ・ ・ ・ ・ 24
老人福祉センターあたご荘	・ ・ ・ ・ ・ 26
老人福祉センターよしい荘	・ ・ ・ ・ ・ 28
宇久高齢者生活福祉センター慈恵苑	・ ・ ・ ・ ・ 30
江迎高齢者生活福祉センター槇の木庵	・ ・ ・ ・ ・ 31
宇久地域包括支援センター	・ ・ ・ ・ ・ 32

平成26年度 事業報告

事業概要

地域福祉推進においては、第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、関係機関の助言や協力をいただきながら地区福祉推進協議会（福推協）を支援し、福推協会長連絡会や先進地視察、ブロック別研修会の実施や地域担当職員の働きかけを継続し、連携強化や活動の活性化に取り組んだ。

特に、高齢化が深刻化する黒島地区においては、継続して「黒島ハッピーカフェ」（地域共生サロン）の活動支援を行ったほか、「黒島地区保健・医療・福祉連携会議」を立ち上げ、島内独自の介護予防活動の推進を図った。

各地区で「ふれあいいきいきサロン活動」の意義や必要性について、事例をもとに説明し開設への働きかけを行ったほか、既存のサロンや自主活動グループに対し、職員による訪問支援や、各サロン同士の情報交換会等を実施し活動活性化に努めた。

また、地域を基盤としたふくし教育を推進するための「ふくし教育実践マニュアル」の作成のため策定委員会と4部会を開催し、次年度策定に向け協議を行ったほか、各小中学校へ職員を派遣し、「ふくし教育」への支援を行った。

さらに、生活困窮者自立促進支援モデル事業の受託や、「させぼ成年後見センター」の開設など、総合相談や地域生活支援機能の充実を図り、要支援者の権利擁護や日常的見守り、生活支援活動を行った。

本協議会が経営する各施設事業においては、吉井介護事業所を建替えるなど、老朽化した施設の保全補修、建替えなどを行い、利用しやすい環境づくりに努めるとともに、質の高いサービスを提供できるよう職員間の情報共有や職員研修を行った。

その他、第2次社協発展強化計画（平成24年度～28年度実施）の実行に向けて職員一丸となって本協議会の組織強化に努めるなど、佐世保市社会福祉協議会の基本理念である、「市民一人ひとりが心豊かに安心して暮らせる福祉のまち」の実現を目指した。

地域福祉推進事業報告

1 自立支援を促すための取組み（個別支援）

（1）孤独から要支援者を守るための取組み

①話し相手ボランティア養成派遣事業

一人暮らしの高齢者などが孤独感や不安などを解消できるように、精神面を支え、心豊かな生活の支援を目的に実施した。

- ・養成講座 H27.2.28 参加者 39 名
- ・派遣事業 活動件数 12 件（内新規6件） 延べ 202 回活動
- ・定例会 11 回 参加者延べ 94 名
- ・登録者数 70 名（内活動者 18 名）

（2）要支援者を資金的に支援するための取組み

①資金貸付事業

○長崎県生活福祉資金貸付事業

失業者世帯、低所得者世帯、高齢・障がい者世帯等の経済的自立や生活意欲の助長を促し、安定した生活を営むことを目的に資金貸付けを行った。

○佐世保市福祉資金貸付事業

市内に 1 年以上居住し、生活が困窮な世帯で、生活再建に必要な融資を他から受けることが困難な世帯を対象に、無利子で小口資金の貸付けを行った。

種 別	H26 年度		H25 年度	
	件数	実績額(円)	件数	実績額(円)
生 活 福 祉 資 金	139	87,412,000	173	79,621,670
臨時特例つなぎ資金	2	200,000	9	878,000
福祉資金(小口資金)	346	7,986,800	411	9,239,650
計	487	95,598,800	593	89,739,320

※福祉資金欠損処分 17 件 500,000 円（住所不明 17 件）

②見舞金等配付事業

○災害罹災世帯への見舞金の支給

市内で発生した局部災害で、被害を受けた被災者に対し見舞金及び弔慰金を支給した。 火災見舞金 12 件（うち死亡弔慰金 1 件）

○福祉見舞金等の配付

歳末たすけあい募金の配分を受け、低所得世帯及び児童養護施設の入所児童等へ年末年始の生活支援のため見舞金を配付した。

区 分	配分額（円）	摘 要
低所得者世帯への見舞金事業	3,875,464	715 世帯
児童養護施設入所者への見舞金事業	231,000	77 名
在宅福祉食事サービス活動への助成事業	453,071	2,713 食
ホームレス支援団体への助成	5,000	1 団体
火災罹災者への見舞金	60,000	6 件
貸出用福祉機器の購入	1,014,588	サロン遊具ほか
事 務 諸 費	100,000	
計	5,739,123	

○要援護世帯の小学校児童・中学校生徒への修学旅行費の助成

要保護・準要保護世帯の小学校児童及び中学校生徒へ修学旅行費（おこづかい）を助成した。

小学校児童 288 名（@2,000） 中学校生徒 348 名（@3,500）

（3）要支援者の権利を擁護するための取組み

①日常生活自立支援事業（県社協委託）

判断能力が十分でないために、地域で自立した生活ができない方（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）を対象に、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の代行を行い、安心した生活ができるよう支援した。

- ・契約者数 108 名（新規 37 名、解約 24 名）
- ・専門員 3 名 訪問調査件数 119 回
- ・生活支援員 10 名 稼働回数 368 回

②高齢者あんしんセンター事業（市委託）

意思能力の低下により自分で意思を決定することや、表現することが困難な人々が安定した地域生活を送られるよう支援を行った。

- ・書類等の預かり ・福祉サービスの手続き ・金銭管理
- 実利用者数 19 名（継続 14 名、新規 5 名、解約 5 名）
- 利用者数 14 名（H27.3.31 現在）

③させば成年後見センターの運営

認知高齢者、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方に対し、家庭裁判所の選任により、佐世保市社協が成年後見人等となり、成年被後見人等が安心して生活を継続できるよう福祉サービス利用の契約等の支援を行った。

（4）包括的・継続的な日常的見守り・生活支援

①生活困窮者自立促進支援モデル事業（市委託）

生活困窮者が経済的困窮状態や社会的孤立から脱却することを支援するため、相談窓口の設置、生活困窮者の把握、自立支援計画の作成、自立支援計画支援調整会議の開催などを行った。

相談件数 408 件

対応内訳：情報提供など 169 件、他制度・他機関等へのつなぎ 181 件

本事業による継続支援 58 件

自立支援計画作成件数 26 件

支援調整会議開催回数 6 回

2 相互扶助を促すための取組み（小地域組織化への支援）

（１）住民相互間の自立支援活動を通じた相互扶助の実現を支える取組み

①食事サービスへの助成

一人暮らしの高齢者や障がい者、高齢者夫婦世帯等を対象に、会食型や配食型の食事サービスを各地区の町内婦人部や福推協等が行っていることに対し、一食あたり 250 円を助成した。

また、食事サービスボランティアグループの活動に必要な専門知識の向上や料理に関する研修を開催した。（市内 5 か所で開催）

・活動実績に応じた助成

53 グループ 対象者 2,532 名 延べ 14,524 食

・食事サービスグループ料理教室の開催

H27.3.2～H27.3.6 計 5 回 参加者 60 名

・食事サービスリーダー研修の実施

H26.7.16 テーマ：調理する上での注意点について 参加者 49 名

（２）要支援者からの自主的・自立的活動を通じた相互扶助の実現を支える取組み

①ふれあいネットワーク支援事業

○ふれあいネットワーク

要支援高齢者及び身体障がい者等に対して、近隣の住民を中心としたネットワーク化を図り、その構成員が対象者を訪問し、安否確認や日常生活を支援することにより、安心して生活できる環境を整え、住民へのボランティア意識の高揚と育成を図った。 1,121 ネット（H27.3.31 現在）

○愛のコールサービス

一人暮らしの高齢者等に対し、定期的に電話をかけて安否確認をし、孤独感を和らげるとともに、様々な相談に応じるほか、地域や他の機関への援助活動へ繋げた。

・対象者 41 名 ・ボランティア 11 名 ・通話件数 年間延べ 1,340 回

②ふれあいいいききサロンの支援・推進

○ふれあいいいききサロン情報交換会の実施

サロン代表者やボランティア、福推協会長を対象に市内 3 か所で実施した。

（社協事業の説明、レクリエーションの紹介・実践・活動内容についての意見交換など）

H26.11.26 福祉活動プラザ 参加者 11 名

H26.12.4 山澄児童センター 参加者 25 名

H26.12.12 清水地区公民館 参加者 25 名

○ふれあいいきいきサロンの開設の推進

福推協会長連絡会、地区総会、地区民児協定例会、町内役員会等でサロン活動の意義や必要性について、事例をもとに説明し開設をはたらきかけた。

サロン数 57 加所 新規開設 19 加所

○ふれあいいきいきサロン・自主活動グループ(旧デイクラブ)への支援

既存のいきいきサロン及び自主活動グループに対し、職員が訪問してレクリエーション等の実施や本会が所有する遊具の貸出を行った。

職員訪問支援回数 121 回

3 地域の主体的活動を実践する取組み（地域福祉活動）

（1）地域福祉（社会参加）を実現する地域の主体的活動を実践する取組み

①地区福祉推進協議会（福推協）との連携・支援

小地域における福祉活動や「地区地域福祉活動計画」の実践活動が着実に推進されるよう、地区担当職員が各地区の定例会や総会等へ参加して企画や提案、関係機関・団体との調整など、その地域の特色を活かした活動の支援に取り組んだ。

特に、定例会の開催やいきいきサロンの立ち上げ等については積極的にはたらきかけを行い、新たに実施する福推協を増やすことができた。

また、地域福祉を推進する中心組織としての福推協と、より一層の連携を図っていくため、福推協会長連絡会や先進地視察研修会（福岡市博多区博多校区大浜社会福祉協議会）を始め、福推協の構成員を対象とした研修会を市内 6 ブロックで開催し、福推協の役割の認識を深め、各地区における福推協活動の活性化に取り組んだ。

H27.2.20 山澄地区公民館 参加者 100 名、広田地区公民館 参加者 95 名

H27.2.24 柚木地区公民館 参加者 130 名、吉井地区公民館 参加者 41 名

H27.2.26 清水地区公民館 参加者 102 名、労働福祉センター 参加者 150 名

参加者合計 618 名

②33 地区福祉推進協議会の活動費の一部を助成

福祉推進協議会組織の強化と円滑な運営及び地域福祉活動を推進するための活動費の一部を助成した。

・ 社協会費還元金（地区の 30%）・共同募金配分金（地区の 5%）

・ 地区均等割 1 地区 35,000 円、人数割 2,000×民生委員児童委員数

（2）地域活性化モデル事業

高齢化が急速に進んでいる離島地域の黒島地区をモデルに、地域を主体とした自立性の高い地域福祉活動が行われる環境づくりを支援し、黒島地区の活性化を図るため次の事業を実施した。

○「黒島ハッピー隊」の活動支援

訪問介護員養成研修(2 級課程)修了者により結成された「黒島ハッピー隊」の活動である「黒島ハッピーカフェ」（地域共生サロン）の開催を支援した。

H26.4.27 参加者 80 名 H26.7.27 参加者 55 名 H26.11.30 参加者 70 名

・ 市民協働交流月間への参加 10 名

・ 小地域地域福祉活動ミット in 関西学院大学への参加 3 名

○公開講座の実施

黒島地区住民を対象に介護予防に関する講座を実施した。

H26.12.4 参加者 26 名

○黒島地区保健・医療・福祉連携会議の立ち上げ・開催

島内で独自に介護予防活動を進めるため、保健・医療・福祉関係者によって構成する会議の場を設定し「介護予防の島」を目指した取り組みを推進した。

構成メンバー：医師、看護師、保健師、介護職員、民生委員児童委員、ボランティア、市役所支所職員、長大教授、佐世保リハビリテーション広域支援センター

会議実績：H26.7.3 参加者 9 名、H26.9.29 参加者 11 名

H27.3.12 参加者 10 名

○黒島地区における健康づくりと介護予防に関する実態調査の実施

黒島地区住民の健康や介護予防に対する意識と、住民が抱えるニーズ他実態を明らかにし相互扶助機能の強化と健康づくりと介護予防の意識高揚、強いては住民自ら実践するシステム構築のための基礎資料として調査を実地し、集計、分析を行った。

標本：65 歳以上の高齢者（男性 40 名、女性 60 名）

○「NPO 法人フリースペースふきのとう」の活動支援（ソーシャルファーム）

ひきこもりの若者やその家族を支援する NPO 法人ふきのとうの活動を支援するために、黒島地区の荒廃農地の提供者を調整し、基盤整備のための人材確保等を支援した。

活動実績：計 7 回、延べ 73 名参加

4 自立支援・相互扶助・地域活動を実践するために必要な基盤整備

（1）施設基盤整備

各施設の年度ごとの整備状況表を作成し、老朽化した建物の整備計画を立てる基礎資料とした。

（2）情報基盤整備

①社会資源情報の収集整備（地域福祉の手引き）

平成 23 年度に作成した「地域福祉の手引き」の内容を基本に、その内容を広く市民に周知するため、各福祉サービスに関する情報や、NPO 等市民活動団体の情報をシステム化し、「暮らしに役立つ福祉情報ガイド」としてインターネット上に整備した。（H27.4.1 からシステム運用開始）

②地域福祉カルテの作成

福推協を単位とする圏域において、基本情報（人口・高齢者人口他）、社会資源の

状況、地理的特徴や交通・生活の利便性、地域の課題・特性などをまとめ、その地域に応じた既存の事業・活動の改善や新たなインフォーマルサービスなどを検討するための基礎資料として作成した地域福祉カルテの情報の定期更新に努めた。

(3) 人材基盤整備

① ボランティアセンターの運営

市民のボランティア・NPO・市民活動への参加を広く呼びかけるとともに、活動が浸透するための事業や支援をしていくことで、市民のボランティアに対する理解、参加を促進し、地域の活性化につなげた。また、ボランティア活動者に対して定例会や電話、面接等でフォローアップを行い、意識向上につなげた。

・ ボランティア登録者 個人 242 名・団体 54 グループ (1,711 名)

・ 会議室・研修室の貸出

会議室利用者数 3,575 名 (290 団体)

研修室利用者数 4,042 名 (251 団体)

② ボランティア活動の支援

○ ボランティアグループへの研修費補助

登録ボランティアグループ（登録 1 年以上）が実施する自主研修や、外部研修会参加に要する経費の一部を助成した。 8 グループ (342,000 円)

○ ボランティア研修会等の開催

市民にボランティアや NPO・市民活動を啓発し、既存の活動をさらに活性化させるための研修会を実施した。

H26.9.27 「団体運営スキルアップ！パソコン講座」 Word 編 18 名

H26.10.18 // Excel 編 17 名 参加者合計 35 名

○ ボランティア活動保険加入促進事業

ボランティア活動者がより安心して活動に取り組むための環境整備、援助を目的として、活動中の事故を補償するため、「ボランティア活動保険」への掛金の一部を助成した。(1 人当たり 100 円) 加入者 5,244 名

③ 福祉人材バンク

○ 福祉人材無料職業紹介事業

広域的な福祉人材確保対策の推進を図るため、求職者への就職斡旋及び相談受付を行いながら、地域住民や社会福祉施設・事業所が福祉人材バンクを積極的に活用できるよう広報・啓発を行った。

求人件数 864 件 求人数 1,510 名 (延数) 求職登録者数 1,679 名 (延数)

紹介者数 208 名 就職者数 99 名 求人・求職相談件数 5,338 件

求職登録者へ求人情報誌の送付 年間 2,259 冊

特定就職困難者雇用開発助成金 申請件数 4 件

○ 福祉の就職合同面談会 H26.9.6 参加者 70 名 採用者 11 名

福祉職場への就職機会の拡大、県北の社会福祉施設・事業所等の人材確保の充実を図るため実施した。

○福祉の職場ミニ面談会

H26.11.14 江迎ハローワーク 参加者 18 名 採用者 1 名

H27.2.28 労働福祉センター 参加者 21 名 採用者 1 名

中途採用者を中心とした求人に対して、福祉職場への就職を希望する一般の方を対象に開催した。

○福祉職場への就職セミナー

H26.8.7 佐世保市社会福祉協議会3階 参加者 15 名 新規登録者 1 名

H26.8.8 ソレイユ吉井(吉井活性化センター) 参加者 18 名 新規登録者 1 名

福祉職への就職希望者を対象に、福祉の仕事に関する講義や現場職員の説明により、福祉職場についての理解及び就職意欲の向上を図った。

○福祉・介護人材マッチング機能強化事業

キャリア支援専門員により、施設、事業所の詳細な求人ニーズの把握と求職者の適性の確認及び就職後の適切なフォローアップ等を図った。

求人・求職等相談件数 5,062 件 訪問件数 568 加所(内出張相談 36 回)

i.福祉の基礎講座&施設見学 H26.8.7 参加者 15 名 H26.8.8 参加者 17 名

ii.基礎講座&介護体験 H26.5.31 参加者 37 名

iii.福祉養成校での福祉フェア

H26.10.26 九州文化学園高校 参加者 101 名

H26.11.8 佐世保実業高校 参加者 100 名

5 災害ボランティアに関する取組み

(1) 災害ボランティア活動推進事業

災害に備える減災活動、災害支援活動の演習を通じた市民の意識の向上に関係機関と協働で取り組んだ。

OH26.5.27 県総合防災訓練への参加(参加者 30 名)

OH26.11.20 原子力艦原子力防災訓練参加

OH27.2.15 山澄地区防災訓練参加

OH27.3.20 災害ボランティア研修会の実施(参加者 20 名)

(2) 災害ボランティアネットワーク連絡協議会

関係機関が平常時から顔の見える関係を構築することを目的に、16 機関・団体による「災害ボランティアネットワーク連絡協議会」を開催した。

連絡協議会では、災害ボランティアセンターを協働で運営するためのマニュアル策定に向けて検討を重ね、実働体制の整備を図った。

○災害ボランティアネットワーク連絡協議会の開催(年2回開催) H26.7.23 27.3.20

○災害ボランティアセンター運営マニュアルの策定

○ボランティアセンター設置運営訓練の実施

・H26.5.27 県総合防災訓練への参加

・H27.3.20 災害ボランティア研修会

6 福祉教育の推進

(1) 福祉教育・人材育成

①福祉教育の推進

市内小中学校からの依頼に応じ、各学校へ職員が出向き、福祉講話や車椅子等の体験学習を通して児童や生徒の福祉への関心を高めた。

・福祉体験学習講座 小学校 8 校 中学校 2 校 ホリケンター、児童センター

②福祉教育実践マニュアルの策定委員会の設置・開催

佐世保市において地域を基盤としたふくし教育を推進するための基本的な考え方、具体的な学習方法（子どもから大人まで学ぶことができる実践プログラム）や地域で活用できる社会資源等を記載した「ふくし教育実践マニュアル」を作成するため、16 団体で構成するふくし教育実践マニュアル策定委員会を設置し協議を行なった。

当初は年度内に策定を予定していたが、より内容を充実したものにするため平成 27 年度初旬に策定することとなった。

○ふくし教育実践マニュアル策定委員会（2 回開催）H26.6.30、H26.11.25

○若年層部会（2 回開催）H26.8.5、H27.1.29

○成人層部会（2 回開催）H26.9.9、H27.1.21

○高齢層部会（2 回開催）H26.9.8、H27.2.4

○地域全体部会（2 回開催）H26.8.5、H27.1.27

③ふくし教育学習会の開催

ふくし教育の意義や必要性について関係機関が相互理解を深めることを目的として学習を開催した。

H26.7.28 労働福祉センター 参加者：139 名

講師：日本福祉大学教授 原田 正樹氏

内容：基調講演「共に生きる地域づくりと福祉教育」

グループワーク「各階層の福祉教育に求められること」

④地域福祉出前講座

市教育委員会が作成する「佐世保市まちづくり出前講座」パンフレットに、メニューのひとつとして掲載し、依頼のあった団体等に社協職員が出向き、地域福祉をテーマとした講座を行った。

実施回数：2 回（①なみぜ会サロン、②老人福祉センターやすらぎ荘）

内容：地域福祉の考え方、必要性などについて 参加者：合計 40 名

⑤地域福祉講演会

家族をテーマに、家族が持つ力や理想的な家族のあり方を学び、地域社会・学校・家庭が一体となって子どもたちを支え、地域住民の連携やみんなで支える地域社会の実現を目指して開催した。

H27.3.10 アルカスSASABO中ホール 参加者 200 名

講師：増岡 弘氏

7 広報啓発

(1) 活動啓発・情報収集及び提供

①社協だよりの発行

地域福祉を推進している各地区の福推協活動や、ボランティア活動及びその活動を支援している社協の取り組みを、市民に分かりやすく伝え、福祉意識の向上と地域福祉活動への理解と関心を深めることを目的に年3回発行した。

また、社協だよりの内容をCDに吹き込み、視覚障害者の方へ「声の社協だより」として配布するとともに、社協事務局及び老人福祉センター3カ所へサンプルCDを設置し、市民への周知を行った。

○社協だより 7月、10月、3月（各102,000部発行 全世帯配布）

○声の社協だより 発行ごとにCD70枚作成

②社協「地域福祉かわら版よもーで」の発行

社協だよりを発行することができない時期のタイムリーな情報や、若い世代を含めた様々な世代が興味を持ち、地域福祉活動への理解を広げることを目的に年3回発行した。

○5月、9月、1月（各3,080部発行 地区公民館、各学校、包括支援センター等）

③ボランティア・NPO 関係広報紙「くれよん」の発行

市民にボランティア・NPOに関する様々な情報を提供し、活動への関心と理解を深め、活動参加へのきっかけになることを目的に年6回（4,085部）発行した。

また、マスコミ（新聞各社、佐世保市内のテレビ局、ラジオ局、タウン誌）に協力を依頼し、社協事業のPRに取り組んだ。

④ホームページによる広報

内容をリニューアルし社協活動全般の紹介、また、地域福祉に関わる新しい情報の発信に努めた。

8 地域福祉活動への支援等

(1) 地域活動支援

①福祉団体の支援

地域で活動する福祉団体へ運営費・事業費を助成し、その運営を支援した。

- ・ 民生委員児童委員協議会連合会及び主任児童委員部会
- ・ 老人クラブ連合会 ・ 視覚障害者協会 ・ 肢体障害者協会
- ・ ろうあ福祉協会 ・ 手をつなぐ育成会 ・ 母子寡婦福祉連合会
- ・ 佐世保市遺族会 ・ 佐世保市保育会 ・ 青少年健全育成会

②社会福祉センターの運営

地域で活動する団体（個人）等へ会議室の貸出を行った。

- ・ 佐世保市社会福祉センター ・ 宇久社会福祉センター
- ・ 江迎福祉センター

③赤い羽根子どもの遊び場の整備

「赤い羽根子どもの遊び場」に設置されている、遊具、フェンス等の安全及び環境維持のため、7か所の遊び場に整備費を助成した。

④遊具・福祉車両・機器の貸出

地域で行われる催し物やサロン活動を支援するため、遊具などの備品を貸し出した。また、公共交通機関を利用しての外出が困難な障がい者や高齢者の通院等のために、福祉車両の貸出や、車椅子、介護ベット、ポータブルトイレなど介護用具の無料貸出を行った。

車椅子の貸出 133 件 福祉車両の貸出1件 その他 115 件

9 その他

①共同募金運動への協力

○赤い羽根共同募金（H26.10.1～H26.12.31）

※募金総額の46%が、次年度の地域福祉活動事業へ配分される。（単位：円）

区 分	目 標 額	H26 年度実績額	H25 年度実績額	摘 要
募 金 総 額	42,332,000	29,701,727	30,216,503	目標額の 70.1%
内 訳	戸別募金	32,532,000	18,746,785	19,024,804
	法人募金	3,000,000	1,855,000	1,929,000
	街頭募金	300,000	240,458	271,838 6 回実施
	職域募金	2,000,000	1,723,094	1,748,172
	学校募金	1,500,000	1,567,871	1,677,159
	特別募金	3,000,000	5,568,519	5,565,530 民生委員扱 364 件 5,150,752 円 事務局扱い 24 件 348,245 円 自動販売機 3 台 69,522 円

○歳末たすけあい募金（H26.12.1～H26.12.25）

※募金全額を福祉見舞金等配付事業に活用した。（3ページ参照）（単位：円）

区 分	目 標 額	H26 年度実績額	H25 年度実績額	摘 要
募金総額	7,100,000	5,739,123	5,912,422	目標額の 80.8%
内 訳	戸別募金	6,000,000	5,099,473	5,124,514
	一般募金	1,000,000	593,095	737,908 街頭募金 5 回
	法人募金	100,000	46,555	50,000

②安定した社協事業活動を支えるため、自主財源の確保に努めた。

○社協会員の確保

種 別	口 数	H26 年度実績額(円)	H25 年度実績額(円)
一 般 会 員	24,875	4,975,167	4,869,011
賛 助 会 員	1,404	1,404,000	1,352,000
団 体 会 員	94	470,000	755,000
特 別 会 員	171	1,115,000	1,105,000
計	26,544	7,964,167	8,081,011

○社会福祉事業資金への寄付

種 別	件 数	H26 年度実績額(円)	H25 年度実績額(円)
忌 明 寄 付	79	1,660,000	1,595,000
一 般 寄 付	40	11,067,905	1,656,628
指 定 寄 付	1	100,000	105,000
物 品 寄 付	2		
計	122	12,827,905	3,356,628

③要介護認定調査事業

長崎県から市町事務受託法人の指定を受け、佐世保市からの委託で、介護認定の申請をされた後に申請者を訪問し、日常生活動作など要介護認定に必要な調査事務を行った。 調査員 25 名（有資格者） 調査件数 11,300 件

④職員体制（H27.3.31 現在、兼務は除く）

	正 規	嘱 託	臨 時	パート	合 計
事務局長		1			1
法人運営課	3	2	2	2	9
地域福祉課	11	9	2	1	23
福祉サービス利用支援課	0	28	0	0	28
在宅介護課・介護事業所(7 事業所)	55	32	6	144	237
勝富授産場	2	2	1	2	7
保育園(3 園)	13	11	7	15	46
児童センター(9 センター)	16	9	3	12	40
老人福祉センター(3 センター)	1	7	0	4	12
高齢者生活福祉センター(2 センター)	1	2	0	5	8
宇久地域包括支援センター	1	2	0	0	3
合 計	103	105	21	185	414

介護事業所事業報告

介護保険制度や障害者総合支援法等に沿って、本会の使命とする地域福祉の観点から、きめ細やかな在宅サービスの提供を行った。また、利用者の自己決定、自己選択を尊重しながら、介護者や関係機関との連携を図り、職員間での情報の共有や合同研修会を開催するなど質の高いサービスを提供できるよう努めた。また、老朽化に伴うよい介護事業所の新築工事を行い施設の整備に努めた。

1 職 員 87名（正規55名・嘱託32名） パート職員150名 計237名

2 居宅介護支援事業

利用者の介護保険による介護サービスを受ける時に必要となる居宅介護支援計画の作成、相談、サービス調整等を行っている。また、医療・保健・福祉サービスを総合的・効果的に利用できるよう提案し、住み慣れた地域で自立した生活が続けられるよう支援をした。

居宅介護支援実績	佐世保	吉井	宇久	小佐々	江迎	鹿町	合計
H25 延人数	839	416	335	1,230	1,314	1,084	5,218
H26 延人数	971	560	273	1,196	1,040	1,037	5,077

3 訪問介護事業

家庭を訪問し、食事・入浴・排せつ等の介助（身体介助）や掃除、洗濯、調理等日常生活の支援、相談、助言（生活援助）のサービスを実施した。

訪問介護実績	佐世保	吉井	世知原	宇久	小佐々	江迎	鹿町	合計
H25 延人数	12,102	5,277	5,955	2,726	7,374	5,588	5,351	44,373
H26 延人数	14,486	5,722	5,176	2,611	7,737	5,664	4,641	46,037

4 障害者居宅介護事業

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスのうち、訪問介護事業所のホームヘルパーが障がい者に対し、在宅で介護や家事等の日常生活の援助を行う居宅介護サービスを実施した。

居宅介護実績	佐世保	吉井	世知原	宇久	小佐々	江迎	鹿町	合計
H25 延人数	3,968	431	254	92	173	581	350	5,849
H26 延人数	4,089	435	583	104	331	470	412	6,424

5 訪問入浴介護事業

・障害者訪問入浴介護事業

移動入浴車で家庭を訪問し、居室で簡易浴槽による入浴サービスを実施した。

訪問入浴実績	小佐々
H25 延人数	360
H26 延人数	298

障害訪問入浴実績	小佐々	江迎	合計
H25 延人数	211	104	315
H26 延人数	203	63	266

6 通所介護事業

デイサービスセンターの施設に通い送迎や入浴、食事の提供、機能訓練等を行う日帰りのサービスを実施した。

通所介護実績	吉井	世知原	宇久(慈恵苑)	小佐々	江迎	鹿町	合計
H25 利用定員	30	35	25(15)	55	45	35	
H26 利用定員	30	35	30(15)	55	40	35	
H25 延人数	5,155	8,320	8,956	13,342	10,653	8,486	54,912
H26 延人数	5,692	7,989	9,066	13,472	9,581	7,681	53,481

7 認知症対応型共同生活介護事業（グループホームよしいの郷）

認知症の要介護者等が、介護スタッフとともに食事づくり、掃除、洗濯等をしてしながら少人数で共同生活を行う事業を実施した。

よしいの郷実績	吉井（利用定員18名）		
H25 延人数	6,157	入居率	93.7%
H26 延人数	5,847	入居率	89.0%

8 配食サービス事業（市受託事業）

高齢者の栄養状態の改善や、地域における自立した生活の継続を支援することを目的とし、高齢者宅に1日1食、食事の提供をした。

配食実績	吉井	小佐々	鹿町	合計
H25 食数	3,241	686	3,111	7,038
H26 食数	4,480	736	2,350	7,566

9 介護教室開催事業

介護方法の習得や介護サービスに関する情報提供等を内容とした介護教室を開催した。

実績	吉井	宇久	小佐々	江迎	合計
H25 参加者人数	0	8	26	56	90
H26 参加者人数	40	8	15	65	128

10 介護二次予防事業 通所型介護予防事業

（運動器の機能向上、認知症予防、口腔機能の向上）

高齢者が要支援・要介護状態になることを予防、改善し、できる限り自立した生活を送れるようになることを目的として実施した。

実績	吉井	世知原	宇久	江迎	合計
H25 延人数	904	0	0	1,111	2,015
H26 延人数	1,117	113	162	1,510	2,902

※主な事業

1. 介護事業検討チームやワーキンググループの会議を開催し第2次発展強化計画の3年目の計画に沿って事業を実施した。
2. 北部地区での訪問入浴介護事業の担い手が少ない中、サービスが低下しないように事業の継続を図った。
3. 地域包括支援センターと連携し介護二次予防事業の運動器の機能向上、認知症予防、口腔機能の向上を積極的に取り組み、介護予防の改善に努めた。
また、二次予防事業を終了した方へ憩いの場を提供し茶話会や季節に合わせた企画等、継続的に交流を図った。
4. 地域のいきいきサロンやふれあい食事会等に出向き、介護相談や介護サービスに関する情報提供に努めた。
5. 職員の質の向上を目指し、キャリア別職員研修や介護支援専門員、介護福祉士の資格取得に向けた研修会を開催した。（介護支援専門員5名、介護福祉士8名取得）
6. 介護分野の雇用促進事業の取り組みを行い、介護職員初任者研修の資格取得に努め職員の雇用に繋がった。
7. 介護事業所カレンダーの作成、広報誌「ほほえみだより」を2回発行、ホームページへの活動の掲載を行い広報啓発に努めた。
8. よしい介護事業所の新築工事を行い、利用者の皆様が広々とした空間の中、快適に過ごしていただけるよう整備するとともに、地域の皆様が気軽に立ち寄れる交流スペースも設けた。

勝富授産場事業報告

社会福祉法による授産施設の趣旨に基づき、継続的な事業量の確保に努め、要保護者・心身障がい者等を対象に社会生活の能力を高め、生活に必要な知識や技能習得の向上を図った。

1 職 員

場長 1 指導員 4 (縫製部 2・軽作業部 2) パート職員 2名 計 7名

2 作業員 (定員 20名)

・3月末現在	(1) 縫製部	(H26年度)	男 1名	女 6名	計 7名
		(H25年度)	男 1名	女 7名	計 8名
	(2) 軽作業部	(H26年度)	男 4名	女 5名	計 9名
		(H25年度)	男 4名	女 5名	計 9名
合 計		(H26年度)	男 5名	女 11名	計 16名
		(H25年度)	男 5名	女 12名	計 17名

・年間措置対象者 年間延べ 183名 (229名)

(内訳) ①生活保護 9名 (9名) ②みなし保護 6名 (7名)

③基準該当就労継続B型 1名 (1名) ※ () 内数字は平成 25 年度実績

3 作業内容

- (1) 縫製部 紳士服、婦人服の補正及び作業着の縫製
 (2) 軽作業部 紙箱等の組立、割箸の袋入れ、シール貼り他簡易作業、網戸の張替

4 受注内容

(1) 縫製部	(H26年度)	1,901 件	総 額	4,877,697 円
	(H25年度)	1,860 件	総 額	4,513,800 円
(2) 軽作業部	(H26年度)	416 件	総 額	1,536,405 円
	(H25年度)	542 件	総 額	1,742,979 円
合 計	(H26年度)	2,317 件	総 額	6,414,102 円
	(H25年度)	2,402 件	総 額	6,256,779 円

5 工賃支払

(単位：円)

区 分		支払総額	1 人平均月額	1 人最高月額	1 人最低月額
縫製部	H26 年度	3,154,684	32,895	58,030	17,564
	H25 年度	3,321,514	29,665	46,894	19,017
軽作業部	H26 年度	1,520,689	11,716	16,655	3,508
	H25 年度	1,465,935	13,298	18,188	5,529

※ 最高・最低月額 は 年間の平均月額

6 平均出勤日数

(1) 縫製部 18.8 日 (2) 軽作業部 16.3 日 (平均作業日数 20 日)

須佐保育園事業報告

児童福祉の理念に立って、よりよい保育環境を整え、それぞれの年齢、能力、個性に応じた養護と教育が一体となった保育を進め、健やかな身体、豊かな情操、正しい社会性、道徳性の芽生えを培い、心身ともに健全な人間形成の基礎を養い感性を高めるよう努めた。

1 保育園の運営

(1) 定 員 70名 月平均85名(前年度 月平均83名 年間991名)

年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

月 園 児	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳 児	10	11	11	14	14	14	15	14	15	15	15	15	163
1～2歳児	24	26	28	27	28	27	28	28	29	29	29	28	331
3 歳 児	16	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	16	195
4歳以上児	29	28	28	28	28	28	28	28	28	27	27	27	334
計	79	81	83	85	86	85	87	86	89	88	88	86	1,023

(2) 職 員

園 長 1 主任保育士 1 保育士 9 臨時保育士 4 パート保育士 2
調理員 3 臨時調理員 1 パート看護師 1 計22名

2 保育内容

(1) 保育目標

・じょうぶなからだ ・つよいところ ・おもいやりのところ ・つくりだすちから
4つの目標を柱に、子どもの気持ちを受け止め、共感し、いろいろな経験と人との関わりを大切にしていって。

(2) 開所時間 午前7:00～午後7:00

(3) クラス編成

0歳児クラス(つくし組) 1歳児クラス(すみれ組) 2歳児クラス(なのはな組)
3歳児クラス(もも組) 4～5歳児クラス(さくら組)

(4) 行 事

4月	入園対面式 内科健診
5月	美化プロジェクト(種まき) 歓迎遠足(佐世保公園) 歯科検診
6月	運動会 保育参観 さくら組芋さし(柚木) 地域のお年寄り招待
7月	美化プロジェクト(植付) プール指導 夏祭り プール開き 交通安全教室
8月	お店屋さんごっこ プール納め
9月	年長児の祖父母招待 松寿園訪問
10月	内科健診 年長児親子遠足(皿山公園) 交通安全教室 がんばらんば国体応援
11月	お遊戯会 七五三参拝 保育参観 さくら組芋掘り(柚木) 魚市場見学
12月	焼き芋パーティー 児童センター祭り 美化プロジェクト(植付) 音楽交流会 松寿園訪問 もも組遠足(森きらら) クリスマス会・聖和コーラス交流会
1月	郵便屋さんごっこ 縄跳び大会 消防出初式 交通安全教室
2月	豆まき 須佐神社節分祭 年長児・保護者との会
3月	ひな祭り会 卒園式 さくら組遠足(海きらら)

避難訓練(月1回実施) 誕生会(月末水曜日) 体育教室(月3回木曜日 4～5歳児)

(5) 特別保育事業

- ・延長保育推進事業（年間 3,395 名）
- ・世代間交流等事業（自主）
「元気にしてる？会」実施（高校 1 年 4 月・小学 1 年 7 月）
- ・園庭開放 育児相談（自主）

3 給 食

- ・食材の味をいかにせるよう薄味を基本とし、新鮮な旬の食材を使い、季節感のあるバランスの取れた献立を工夫した。
- ・アレルギー、体調の悪い子どもには、細心の注意をはらい調理工夫した。
- ・食事のマナーを知らせ、友達や保育士とおいしく楽しく給食がとれるようにした。
- ・0 歳 児…家庭での離乳食の進み具合を聞き、連携を取りながら行っていた。
1～2 歳児…野菜を少しずつ大きめに切ったり、歯ごたえのある素材を取り入れた。
3 歳以上児…副食のみ給食実施。クッキング保育を通して、食材や調理器具の使い方、料理の楽しさを知らせ、食育につなげた。

4 健康管理

(1) 園 児

- ・内科健診（田中医師 4・10 月実施）
- ・歯科検診（江崎医師 5 月実施）
- ・ギョウチュウ検査（年 2 回実施）
- ・尿検査（3 歳以上児 年 2 回実施）

(2) 職 員

- ・定期健康診断（年 1 回実施）
- ・検 便 （月 1 回実施）

5 職員研修・会議

(1) 外部研修

- ・園長会 主任保育士部会 給食部会 保育士研修会 他

(2) 園内研修

- ・給食検討会（月 1 回）メニュー等の反省を行い、より良い献立に努めた。
- ・研 修 （月 1 回）研修会の報告を行い、知識を深め合い保育技術の向上に努めた。
- ・会 議 （月 2 回）行事内容検討等を行い、保育内容の充実に努めた。

吉井北保育園事業報告

児童福祉法の理念に立って、よりよい保育環境を整え、それぞれの年齢、能力、個性に応じた養護と教育が一体となった保育を進め、健やかな身体、豊かな情操、正しい社会性、道徳性の芽生えを培い、心身ともに健全な人間形成の基礎を養い感性を高めるよう努めた。

1 保育園の運営

(1) 定員 60名 月平均 52名 (前年度 月平均46名 年間551名)

年齢別・月別入所児童数 (各月初日現在)

月 園児	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
乳児	4	5	6	8	10	11	11	11	10	10	12	13	111
1～2歳児	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	17	192
3歳児	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	94
4歳以上児	17	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	224
計	43	46	48	51	53	54	54	54	53	53	55	57	621

(2) 職員

園長 1 主任保育士 1 保育士 5 臨時保育士 2 パート保育士 7
パート看護師 2 調理員 1 パート調理員 2 計21名

2 保育内容

(1) 保育目標

子どもたちは、未来に向けてのあらゆる可能性をそのうちに秘めている。日々の保育の中で伸びゆく芽を見つけ、愛情あふれる環境の中で大切に育てていくことを目標とし保育に努めた。

- ・のびのびと遊べる子ども
- ・友だちと仲良くできる子ども
- ・自然に親しみ、お年寄りやさしくふれあえる子ども

(2) 開所時間 午前7:00～午後7:00

(3) クラス編成

0歳児クラス(たんぽぽ組) 1・2歳児クラス(すみれ・もも組)
2・3歳児クラス(もも・うめ組) 4・5歳児クラス(さくら・ひまわり組)

(4) 主要行事

4月	入園対面式 進級式 花祭り参加 内科健診
5月	年長・年中・年少組親子バス遠足 歯科検診 じゃがいも収穫
6月	運動会 芋苗さし クッキング 吉井北小とのふれあい集会
7月	吉井北小1年生町探検 セタ集会 プール開き タ涼み会(年長組親子クッキング) 美化プロジェクト 下直谷地区夏祭り(年長組生花展示) クッキング
8月	異年齢児交流 ディサービス訪問 人権擁護教室
9月	プール納め 食育推進事業 吉井中学生職場体験 さくらプレイス訪問 保育参観(TVさせば取材)
10月	吉井北小ふれあいコンサート がんばらんば国体応援 よしいの郷訪問 芋ほり 福井くんち 保幼小吉井地区交流遠足
11月	吉井地区文化祭(太鼓出演・展示) クッキング 内科健診 下直谷敬老会 七五三 発表会

12月	ふれあい発表会 たまねぎ苗植え(2・3歳児) 黒髪山祭り(祥雲寺参拝) ディサービス訪問 クリスマス集会 クッキング
1月	クッキング 保育参観
2月	節分集会 小学校との交流会 お店屋さんごっこ クッキング
3月	雛祭り集会 お別れ遠足(年少・年中・年長組たびら昆虫自然園) 年長組バス遠足 卒園式 修了式

〔年間〕 交通安全教室(7月 11月 2月) プール指導(外部指導 年4回)
たのしいリズム(外部指導 年20回)
太鼓指導(外部指導 年4回) クッキング(年7回) 弁当の日(年3回)

〔毎月〕 誕生会 身体測定 避難訓練

(5) 特別保育事業

- ・延長保育促進事業(延長保育推進事業・延長保育事業)…年間延べ人数452人
- ・世代間交流事業…単独事業(年5回実施延べ人数 160人)
- ・異年齢児交流事業…単独事業(年1回実施 12人)
- ・一時預かり事業…単独事業(年間延べ人数 81人 佐世保市・平戸市)
- ・祝日保育事業(在園児対象)…単独事業(利用者なし)
- ・園庭開放(毎週金曜日)…単独事業(利用者なし)

3 給 食

友だちや保育士、更に調理員などと一緒に食事をするこゝで、人とのかかわりをもつて、楽しく食べる、料理をつくる人にも関心をもたせた。

また、できるだけ多くの食材や豊富な食べ物を味わえるように工夫した。

4 健康管理

乳幼児の安全を守り、体調不良の子どもへの対応など健康面における対策に配慮し、健やかな成長を推進するように心がけた。

(1) 園児

- ・内科健診(園医 松瀬診療所…4月・12月実施)
- ・歯科検診(園医 法師山歯科医院…5月実施)

(2) 職員

- ・定期健康診断(年1回)
- ・検便(赤痢菌・サルモレラ菌・大腸菌・O157)…全職員実施(毎月)

5 職員研修・会議

(1) 外部研修

園長会 保育所長研修会 主任保育士研修会 中堅保育士研修会 食育研修会
九州保育三団体研究大会 保育士研修会Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 新保育制度研修会
給食部会

(2) 園内研修・会議

職員会(月1回以上)

行事等の内容を検討しあい、保育内容の充実を図った。

給食検討会(月1回)

改善点を反映させ、よりよい給食を提供できるように努めた。

研修報告会・会議(随時)

報告会、勉強会を重ねるこゝで、職員各自の意識向上を図った。

宇久ふたば保育所事業報告

児童福祉の理念に立って、より良い保育環境を整え、健やかな身体・豊かな情操・道徳性を育て、心身ともに健全な児童育成に努めた。

1 保育園の運営

(1) 定 員 40名 月平均16名 (前年度 月平均16名 年間197名)
年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

園児 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
2歳児	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	7
3歳児	6	6	6	6	5	5	6	6	6	3	1	1	57
4歳以上児	9	9	9	9	10	11	11	11	11	13	15	15	133
計	16	16	16	16	16	17	17	17	17	16	16	17	197

(2) 職 員 保育士 2 (内園長 1) 臨時保育士 1 計3名

2 保育内容

年齢に合わせた年間、月間の計画に応じ週案をたてて、いろいろな行事に参加し、地域とのふれあいにも努めた。

(主要行事)

4月	入園式、歓迎遠足、やぎ見学、こいのぼり揚げ、田植え見学
5月	交通安全教室、花祭り、わくわく風あげ、避難訓練、母の日製作
6月	歯科健診、内科健診、わくわく映写会、父の日製作、避難訓練
7月	七夕お誕生会、スイカ割り大会、竜神祭参加(地域)、水遊び、慈恵苑訪問、フルサポート訪問
8月	プール遊び、せみ捕り、そうめん流し、避難訓練
9月	ひやけ大会、敬老会参加(地域)、小学校合同運動会
10月	芋掘り遠足、宇久島神社祭参加、園庭草取り(保護者)、焼き芋大会、ハロウィン
11月	町文化祭参加、みかん狩り、産業まつり参加、避難訓練
12月	お遊戯会、福祉センター訪問、慈恵苑訪問、クリスマス会
1月	鏡開きぜんざい会、お正月遊び大会、末申観音様お参り、避難訓練
2月	節分祭り参加、内科健診、避難訓練
3月	雛祭りお誕生会、お別れ遠足、卒園式

3 昼 食

毎日お弁当を持参、3時に間食(おやつ)を実施し、週3回「牛乳いりこの日」を設けた。

4 保健衛生

手洗いうがいの励行、歯科健診、内科健診、フッ素洗口等年間を通じ保健衛生面には特に留意した。

5 その他

過疎化少子化のため、地域との交流を多くし、園庭を解放するとともに、乳幼児の育児相談などにも対応した。

児童センター事業報告

児童福祉法に基づき、児童に健全な遊びを与えその健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域における健全育成活動の拠点とし学校、児童クラブ、子ども会及び留守家庭児童保護者等との連携を図りながら様々な活動を展開した。

1 職 員

館長 9（宇久支所長兼務1） 児童厚生員 13 嘱託児童厚生員 4
臨時児童厚生員 2 パート職員 11 計 39名

2 利用者状況

区 分	稲 荷	大 野	黒 髪	相 浦	早 岐	春日	広 田	山 澄	宇久	合 計
開 館 日 数	293	293	293	293	293	293	293	293	293	2,637
利 用 者 総 数	12,695	7,960	11,960	6,506	7,365	13,402	16,549	3,746	7,220	87,403
一 日 平 均	43.3	27.2	40.8	22.2	25.1	45.7	56.5	12.8	24.6	33.1
登校日	最 高	77	46	68	58	51	90	87	39	88
	最 低	3	11	0	3	2	12	26	0	3
休校日	最 高	219	95	85	158	89	156	108	86	94
	最 低	8	1	6	1	4	14	7	1	7
利 用 届 数	300	189	307	416	267	255	339	236	129	2,438
幼 児 利 用 者 数	890	111	250	854	233	484	120	354	1,330	4,626
一 般 児 童 利 用 数	11,805	7,849	11,710	5,652	7,132	12,918	16,429	3,392	5,890	82,777
留守家庭児童利 用 数	7,005	6,763	1,829	1,371	4,770	6,002	13,462	0	3,474	44,676
留守家庭児童利 用 届 登 録 者	98	110	19	19	57	63	230	0	17	613

3 事業内容

（1）年間事業

児童センター利用児童の参加による運動遊びや体験学習などを通して、子どもの個別的、集団的援助活動を推進し、自主性、社会性、創造性を高め健やかに育てることを目的に実施した。

① 各児童センター独自の事業

各児童センターの自由な企画で、年間を通して季節行事、スポーツ、避難通報訓練、夏祭り等を、地域や子ども達の状況に合せた内容で実施した。

② 子どもボランティア育成支援

子ども達によるボランティアグループの育成を図り、その活動を支援した。

(2) 地域支援事業

各館による自由な事業展開を行える体制作りをし、地域の子どもの主体とした事業を行い、地域支援の中心としての児童センターを位置づけることを目的に実施した。

- ① 各児童センターで地域の子育て支援活動、健全育成活動を、地域の人々と共有してさまざまな活動を展開し、地域とのネットワーク強化を図った。

(地域交流、クラブ活動、子どもボランティア育成、エコ活動、情報発信など)

② 青空児童館

(イ) 派遣型(宇久を除く8館)

児童の健全育成を推進している団体や子ども会からの派遣要請を受け、児童センター利用の疑似体験及び対象にあった遊びのプログラムを提供した。

実施場所 8か所 参加者 460名

広報活動：青空児童館のポスターやチラシを作成し、小学校や子ども会及び地区の主任児童委員等へ配布した。

研修活動：職員の資質向上の為に、バルーンアート実技講習会を開催した。

(ロ) 実施型(宇久児童センター)

児童センターがない神浦地区へ出向き、ふたば保育所にて日頃児童センターで行っている活動を展開し、地域との交流を図った。

第1、第3土曜日(全21回実施)

参加者 延べ189名(乳幼児62名、児童85名、保護者42名)

③ 情報提供

ホームページ・社協だより・児童センターだよりなどによる児童センター活動情報及び子育て情報の提供を行った。

(3) ふれあい交流事業

児童が様々な人達とふれあうことで、豊かな心を育むとともに、児童センターの存在を市民に知ってもらうことを目的に実施した。

また、児童健全育成活動の拠点として役割を担っていけるよう地域、保護者、関係団体とのネットワーク強化を図った。

◎ 羽ばたけ児童センターまつり H26.12.7(山澄児童センター及び山澄地区公民館)

市内の児童が交流できる場として、遊び・体験・展示・出演・食の5つのブースを設け、子どもたちが各係を担当したり、来場者が自由にそれぞれのブースを楽しむよう実施した。

○遊びブース(ゲームコーナー、スタンプラリー、つくってあそぼう他)

○体験ブース(クラフト工作、シニア体験、科学工作他)

○展示ブース(協力団体作品や各児童センターおすすめ工作、作品展示他)

○出演ブース(児童や保育園児による出し物、バルーンアート他)

○食ブース（ハヤシライス、焼きそばパン、フランクフルト他）

参加者延べ 10,161 名

協力団体：佐世保市主任児童委員部会・長崎県立大学鵬祭実行委員会・佐世保工業高等専門学校・長崎国際大学・他多数団体。

◎ 赤い羽根共同募金街頭募金活動 H26.11.22（四ツ町アーケード内島瀬公園前）

児童が募金活動を体験することで、福祉に関心を持たせ、他人を思いやる心を育んだ。

参加児童 16 名 募金額 39,939 円

（4）一輪車大会 H26.10.5（旧佐世保市立戸尾小学校体育館）

一輪車を楽しく乗りこなし、さらに心身の能力を十分に発揮して、児童が健全に成長することを目的に、市内の全児童を対象に実施した。

○直線・曲線走競争 ○アイドリング、片足走行など技能披露 ○ダンス披露

参加者 257 名（選手児童 69 名・参観児童 45 名・保護者 101 名・協力団体 4 名ほか）

協力団体：佐世保市スポーツ推進委員協議会

（5）第 18 回「させぼわんぱくひろば」 H26.5.6（佐世保市体育文化館）

子育て支援団体として実行委員会（6 回）に参加し、子ども達が楽しめる遊びを提供することで児童センターとしての役割を十分発揮できるよう協力した。

・「風船で作って遊ぼう」「ポンポンカーリング」

コーナー参加者 延べ 1,916 名

老人福祉センターやすらぎ荘事業報告

高齢者の皆さんが、健康で明るく心ゆたかな生活を営めるよう、多種目の教養講座による生涯学習の場を提供するとともに、健康相談、健康講話等による健康管理、浴場や休養施設による健康の維持、各種レクリエーションの場の提供等により、心身両面のリフレッシュに資するよう努めた。また、施設整備においては、大広間入口土間改修工事を行った。

1 職 員

所 長 1 主 事 1 管理員 2 パート職員 1 計 5名

2 利用者数

(1) 年度別

年度	利用者数 (名)	月平均 (名)	1 日平均 (名)	開館日数 (日)	1 日の利用者数	
					最高(名)	最低(名)
24	20,067	1,672	68	294	162	9
25	20,108	1,676	69	293	152	18
26	19,148	1,595	65	293	157	11

(2) 利用券別

(単位：名)

年度	総 数	回数券	老人券	一般券	学生券	団 体	無 料
24	20,067	16,961	2,464	217	0	63	362
25	20,108	17,440	1,998	180	16	61	413
26	19,148	16,591	1,958	158	3	59	379

3 利用料収入

(単位：円)

年度	利 用 料	月 平 均	1 日 平 均
24	2,376,200	198,017	8,082
25	2,391,200	199,267	8,161
26	2,351,050	195,921	8,024

4 健康相談者数

(単位：名)

年度	総 数	月平均
24	178	15
25	202	17
26	176	15

5 送迎バス利用者数

(単位：名)

年度	利 用 者 数
24	6,149
25	6,037
26	5,530

6 講座及びクラブ活動

講 座 名	部員数（名）	開催回数
表 装	43	週1回
短 歌	7	月2回
茶 道	6	週1回
合 唱	4	週1回
カラオケ	7	月2回
書 道	20	週1回
詩 吟	5	週1回
社交ダンス	10	週1回
合 計	102名	

ク ラ ブ 名	部員数（名）	開催回数
手 芸	5	週1回
水墨画	8	月2回
陶 芸	5	週1回
大正琴	9	月2回
軽音楽	10	週1回
ソーイング	20	週1回
軽音楽愛好会	5	月2回
将 棋	33	毎 日
合 計	95名	

7 各種行事等

(1) 創立42周年記念演芸大会	5月18日
(2) 歯科相談	6月 6日
(3) 七夕演芸大会	7月 6日
(4) 敬老週間無料開放	9月12日～14日
(5) 秋の文化祭	9月12日～14日
(6) 敬老演芸大会	9月14日
(7) 松山町敬老会	9月20日
(8) マジックショー訪問	11月 2日
(9) 避難訓練	11月 8日
(10) 歯科相談	12月 5日
(11) 年忘れ演芸大会	12月14日
(12) 講座事始め式	1月14日
(13) 節分祭	2月 3日
(14) 避難訓練	3月12日
(15) 春の文化祭	3月13日～15日
(16) 桜祭り演芸大会	3月15日

※ 公開講座

4月16日	佐世保市の医療について	清水輝久（福田病院）
5月15日	健康づくりのための眠りについて	足立美里（千住病院）
6月18日	地域の底力でできること	富永健三（社協 地域福祉課）
7月16日	不幸の中で気づく幸せ	辻本良明（善隣寺副住職）
9月17日	高齢者の交通安全	佐世保警察署（交通課）
10月15日	健康教室	石橋隆弘（佐世保ヤクルト）
11月21日	高血圧について	東謙一郎（千住病院）
12月17日	火災予防と緊急時の対応	佐世保中央消防署
1月21日	干支の話「羊ひみつのおもしろ物画たり」	木寺十郎（元やすらぎ荘美術講師）
2月18日	父を語る	辻本光信（善隣寺住職）
3月18日	備えあれば憂いなし	永田敦子（長崎地方法務局）

～知って安心相続・遺言・青年後見～

老人福祉センターあたご荘事業報告

高齢者の皆さんが、施設の利用をとおして相互の親睦と心豊かな人間関係を育むとともに、健康相談の活用や各種クラブ活動に積極的に参加することによって、毎日を楽しく健康で生きがいのある人生を送られるよう努めた。

また、施設整備においては、給湯室電気給湯器取替工事、地下タンク液面計取替工事などを行った。

1 職 員

所 長 1 事務員 1 管理員 1 パート職員 3 計 6名

2 利用者数

(1) 年度別

年度	利用者数 (名)	月平均 (名)	1日平均 (名)	開館日数 (日)	1日の利用者数	
					最高(名)	最低(名)
24	27,379	2,282	91	300	145	38
25	25,967	2,164	87	298	193	36
26	24,773	2,064	83	298	173	29

(2) 利用券別

(単位：名)

年度	総 数	回数券	老人券	一般券	学生券	団 体	無 料
24	27,379	22,567	3,540	629	15	381	247
25	25,967	21,554	3,098	491	31	518	275
26	24,773	20,602	2,970	436	17	463	285

3 利用料収入

(単位：円)

年度	利 用 料	月 平 均	1日 平均
24	3,504,330	292,028	11,681
25	3,261,930	271,828	10,946
26	3,105,070	258,756	10,420

4 健康相談者数

(単位：名)

年度	人 員	月 平 均
24	160	13
25	170	14
26	158	13

5 クラブ活動

クラブ名	部員数(名)	開催回数	クラブ名	部員数(名)	開催回数
歌う会	5	週2回	舞 踊	6	週1回
詩 吟 (A)	4	週1回	将 棋	10	月1回
囲 碁 (A)	10	週1回	フラダンス	12	月4回
囲碁クラブ	10	週1回	さくら会	6	月2回
カラオケ	8	月4回	囲 碁 (C)	8	月2回
囲 碁 (B)	13	週2回	詩 吟 (B)	4	月3回
筆ペン	10	月3回	バンド	7	週1回
			合 計	113名	

6 各種行事

(1) 健康相談	毎月第三金曜日
(2) 春の演芸大会	4月27日
(3) 交通安全講話	5月26日
(4) 北部地区老人クラブ連合会演芸大会	5月 7日
(5) がんばらんば体操講習会	6月19日
(6) 相浦地区老人クラブ連合会演芸大会	6月11日
(7) 歯科相談	6月20日
(8) 納涼演芸大会	7月27日
(9) 皆さんの作品展	9月12日～18日
(10) 敬老週間無料開放	9月12日～14日
(11) 中里上地区公民館敬老会	9月23日
(10) 西村舞踊団訪問	9月28日
(12) 秋の演芸大会	10月26日
(13) 中里幼稚園園児訪問	10月30日
(14) 避難訓練	11月 7日
(15) 歯科相談	11月21日
(16) レントゲン検診車訪問	11月28日
(17) 介護教室	12月12日
(18) レインボーバンド クリスマスコンサート	12月15日
(19) 中里地区老人クラブ連合会新年会	1月14日
(20) 新春演芸大会	1月18日
(21) 節分(豆まき)	2月 3日

老人福祉センターよしい荘事業報告

老人福祉法に定める老人福祉センター設置運営事業要綱に基づき、地域の高齢者に対して各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、趣味及びレクリエーションのための便宜の総合的供与を行い、健康で明るく心豊かな生活の向上に努めた。

また、施設整備においては、大広間のステージが老朽化していたため床板張替及び障子の張替、屋上ソーラー設備の水漏れに伴う修繕工事を行った。

1 職 員

所 長 1 (兼務) 指導員 1 計 2 名

2 利用者数

(1) 年度別

年度	利用者数 (名)	月平均 (名)	1日平均 (名)	開館日数 (日)	1日の利用者数	
					最高(名)	最低(名)
24	3,452	288	14	243	106	1
25	3,352	275	14	241	45	3
26	3,687	307	15	242	52	2

(2) 利用券別

(単位：名)

年度	総 数	回数券	老人券	一般券	学生券	団 体	無 料
24	3,452	1,240	818	76	0	—	1,318
25	3,352	1,136	967	2	0	—	1,247
26	3,687	1,460	970	2	0	—	1,255

3 利用料収入

(単位：円)

年度	利 用 料	月 平 均	1日 平均
24	281,560	23,463	1,159
25	272,660	22,721	1,131
26	317,480	26,457	1,312

4 健康相談者数

(単位：名)

年度	人 員	月 平 均
24	64	5
25	66	6
26	64	5

5 講座及びクラブ活動

ク ラ ブ 名	部員数(名)	開催回数
中央シルバーサロン	10	年 12回
老人クラブ	40	月 1~2回
合計 2 クラブ	50	

6 各種行事等

- (1) 健康体操の日 毎週水曜日
- (2) 喫茶の日 毎月第2・4金曜日
- (3) たよりの発行 年1回
- (4) 健康相談 毎月第2金曜日
- (5) 歯科相談 6月9日(金)・12月12日(金)
- (6) セタ会 7月25日(金)
- (7) 敬老週間無料開放 9月17日(水)~9月19日(金)
- (8) 火災避難訓練 12月12日(金)
- (9) 大掃除 12月15日(金)

7 公開講座

- (1) 介護教室(認知症について講話) 5月13日(火)
- (2) 3B体操講習会(第1回) 6月11日(水)
- (3) 3B体操講習会(第2回) 9月17日(水)
- (4) 「笑いヨガ」講座(亀石 恵氏) 11月7日(金)
- (5) クリスマス会 12月19日(金)
- (6) 3B体操講習会(第3回) 1月21日(水)
- (7) ごみの出し方講座(佐世保市廃棄物減量推進課) 2月27日(金)
- (8) 3B体操講習会(第4回) 3月11日(水)

宇久高齢者生活福祉センター慈恵苑事業報告

入居者に対して介護支援機能・居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援するとともに、福祉の増進と安定を図った。

1 職 員 施設長（主任）1名・生活援助員2名（うち代替1名）・管理員2名

2 居 住 者 平成25年度3月末 15名 ・平成26年度3月末 17名

3 職員目標 ①入居者の人格を尊重する。
②入居者の能力に応じた自立支援を行う。
③家族と連絡を密にし、適切な支援を行う。

4 会 議 毎朝 宿直との引継ぎ、業務報告（必要時ケース会議）
宇久支所訓呼称
毎月（月始め）社協の各事業の業務連絡会議
毎月（月末）居住者の状態を全員で把握し、対応等について打合せ
年（1～2回）家族と行政と社協とによる家族会議
年（2回）居住者と職員による苑内会議

5 日 課 毎朝（9時） ラジオ体操～居住者及び職員参加
毎夕（4時） リハビリ～手拭体操
趣味～折り紙・読書・お経・四季の行事
活動～庭の草取り・おしぼり洗いたたみ・行事の準備等
入浴（3/w）火・木・土～シャワーは必要な場合は事務所に届出で可

6 定期行事	行事		行事
	4月 花見	10月	祭り見学
	5月 母の日、家族会	11月	文化祭、産業まつり見学
	6月 父の日	12月	クリスマス忘年会
	7月 七夕交流会	1月	新年会
	8月 夏祭り	2月	節分
	9月 敬老の集い	3月	ひな祭り

誕生会（隔月） デイサービスと合同で実施

清掃の日（月1回） 通常より丁寧に居室の清掃。希望により職員も支援

防災の日（月1回） 居住者やデイサービスとの合同避難訓練・職員研修

居室訪問（月1回） 看護師と生活援助員で健康チェック及び生活衛生面
への助言

新聞“ゆかり”の発行（年3回） 家族への情報提供

高齢者生活福祉センター槇の木庵事業報告

入居者に対して介護支援機能・居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援するとともに、福祉の増進と安定を図った。

- 1 職 員 施設長生活援助員1名・生活援助員2名・宿直員3名（シバ-人材センター委託）
- 2 居 住 者 平成25年度末9名 平成26年度末8名（退所者3名 入所者2名）
- 3 職員目標 ①入居者の人格を尊重する。
②入居者の能力に応じた自立支援を行う。
③ご家族と連携を図り適切な支援を行う。
④地域や入居者間の交流支援に心がける。
- 4 会 議 毎朝・夕 宿直員との申し送り
毎週・月曜日 業務報告（必要時ケース会議）
年間（3回） 入居者、行政、社協との連絡会
- 5 日 課 8時00分 自動血圧測定（変動時、看護師測定、健康相談）
9時30分 ラジオ体操 失禁予防体操 がんばらんば体操
脳トレーニング 読書 折り紙 オセロゲーム
野菜作り 花づくり トランプ カラオケ 山菜採り
14時00分 入浴（週3回 月・水・金）他、シャワーも必要時

6 定期行事等

	行 事	点検・訓練等		行 事	点検・訓練等
4月	野外つつじ花見 （鹿町・長串山公園）	非常灯点検 玄関ドア点検	10月	デイサービス・槇 の木庵合同運動会 誕生会	非常灯点検 玄関ドア点検
5月	母の日感謝会 誕生会	浴室やトイレ手すり 非常ベル非常灯点検	11月	門出を祝う会 誕生会	浴室やトイレ手すり 非常ベル非常灯点検
6月	父の日感謝会	非常灯点検 防火避難訓練	12月	歓迎会・誕生会 合同クリスマス会	合同避難訓練
7月	野外・外食 七夕交流会 （江迎青い実幼稚園）	消防設備点検	1月	元旦おせち会食 誕生会・書道ツギ -ライフ 見学	防火設備点検 ベランダ 補修工事
8月	水かけ地蔵 千灯呂まつり見学	防火避難訓練 非常灯点検	2月	節分豆まき	消防設備査察 浴室危険箇所確認
9月	敬老祝賀会 江小児童手紙交流 誕生会	夜間合同避難訓練 ガス・ホース・エアコン修理 ベランダ 危険箇所確認	3月	ひな祭り 誕生会	防火避難訓練 浴室タイル補修工事

・（随時開催）誕生会・入居者の誕生日

・（毎月10日）清掃の日

宇久地域包括支援センター事業報告

宇久地域に暮らす高齢者の相談窓口として、高齢者自身の意見を尊重し、自助努力を基本に住み慣れた環境の下で、自分らしい生活を維持できるよう支援に努めた。

また、宇久地域包括ケア会議を年4回開催し、地域の高齢者を支える関係機関との情報を共有する機会を設け、広域的な支援体制づくりに努めた。

1 職 員 所長（兼）1名、社会福祉士（兼）1名、保健師等（看護師）1名
介護支援専門員1名

2 開所時間 9：00～18：00
※月曜日～土曜日

3 相談実績 I 総合相談業務実績

①分類別相談件数（延べ件数）

虐待	41
権利擁護	19
消費生活	2
介護相談	101
生活不安	386
関係事業所への不満	1
ダブルケア	3
介護保険関係	246
施設入所	60
栄養相談	2
2次予防	63
その他	39
合 計	963

②相談受付状況（実件数）

※受付方法

電話	387
窓口	348
訪問	79
所内	27
合 計	841

※相談者の続柄

本人・家族	337
地域	104
関係機関	345
その他	55
合 計	841

II 包括的・継続的なマネジメント業務

（延べ件数）

医療機関との連携	80
認知症疾患医療センターとの連携	16
民生委員との連携	68
関係機関との連携	186
その他会議	114
地域活動出席	16
合 計	480

III 指定介護予防支援業務

予防給付管理数（延べ）	481
月平均	40